

## 2018年度 大津市各担当課と面会

**第4回環境部長面会**：2018年7月11日、木村一富 環境部長、各課長と面会し大津市北部に対する**環境破壊と環境保全対策・和邇インター周辺の環境対策**についてお聞きしました。木村部長は、「私も元志賀町の職員だったので、比良山系の自然環境の大切さを良く知っている」と話されました。



大津市側出席者

**環境政策課面会**：—1時間の充実した意見交換— 2018年9月21日、環境政策課須佐美課長と面会し、右記3点について意見交換をさせていただきました。



毎日数百台ものダンプカーが土砂・汚染土壌等を運んでやって来ます。琵琶湖という水源地を守るためには、この状態をなくして**総量規制の強化**をする必要があると訴えました。

1. 総量規制の強化について。
2. 水洗浄施設について。
3. 新土砂条例制定に伴う問題点について。

**不法投棄対策課面会**：—山本課長と2時間の意見交換— 2018年10月24日、下記3点について意見交換をさせていただきました。

1. 新土砂条例制定に伴う問題点について。
2. 総量規制の強化について。
3. 土砂の分別処理について。

・汚染土壌等を運んでやって来ます。ただ、土砂の搬入は減っているようです。新土砂条例制定について詳しく聞きました。

・2018/12/1 規則の交付、2019/1/1 施行で作業を進めている。

- ・景観配慮と言っているが、骨子は「埋め立て終了後の植栽、緑化をきちんとしなさい」、と言うことで、出来るだけ早く里山にふさわしい木が育つことを望んでいる。
- ・土砂搬入の申請段階で植栽を含めた全計画を出させ、植栽が活着するまで一定期間（2～3年）管理しなさいと言う点がポイントになる。
- ・防災対策が中心である預託金の活用範囲を緑化対策にも活用できるようにする。



**産業廃棄物対策課面会**：—小田課長と下記3点の意見交換— 2018年11月19日

11月の面会となりましたが、質問してもすぐ答えが返ってきてよく勉強されている事が判りました。下記3点についてお尋ねしました。



1. 県外からの産廃持込推定量について：
  - ・北浜の安定型処分場→平成30年6月許可、・19万t⇒61万tに拡大
2. 総量規制の強化・中間処理施設の数の規制について：
3. その他・廃棄物処理の広域化に伴う対策：
  - ・処理済み土等が移動しているルートを知ってもらいたい。途中の水洗浄処理施設で大量の処理済み土が発生している。